

令和6年2月5日

保護者 様

田村市立滝根小学校長 小川 久弥

学校評価アンケート、および滝根っ子ルール取り組み状況調査の結果等について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、12月に依頼いたしました学校運営に関する評価アンケート、および滝根っ子ルール取り組み状況調査について、お忙しい中ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

集計結果をまとめ、主な項目について考察しましたのでご覧ください。今回の考察を基に、今後の教育活動の充実、発展に努めてまいります。今後とも子どもたちのためにより一層のご支援とご協力をお願いいたします。

記

- 項目1「お子さんは、元気に学校に通っている。」
- 項目2「お子さんは、自分の学級が楽しいと感じている。」
- 項目5「学校の雰囲気がよく、児童がいきいきとしている。」

<考察・改善点等>

上記の各項目において、「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は、項目1が97%、項目2が96%、項目5が97%と、すべてにおいてポイントが上がり、良い評価を得ています。

さらに、児童が「安心して楽しく過ごせる学級づくり」や「いきいきと活躍できる場の充実」に努めていきたいと思えます。

- 項目3「お子さんは、授業が分かりやすいと話している。」

<考察・改善点>

「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は、昨年度と同じ程度の88%でした。さらに分かりやすい授業をめざして、教員一人一人が「つまずきに寄り添う温かい授業づくり」や「一人一人の実態を把握した個に応じた指導の充実」などに取り組んでいきます。

- 項目4「お子さんは、学校での出来事をよく話してくれる。」

<考察・改善点>

「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は、昨年度と同じ83%でした。学校での学習活動や生活の様子を学年だより、学校だより、ホームページなどで発信することにより、保護者の方からも児童に学校での様子を聞くことができるようにしていきたいと思えます。

●項目6「学校や学級の生徒指導の方針に共感できる。」

＜考察・改善点＞

「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は、昨年度と同じ程度の92%でした。今後も保護者のみなさんと生徒指導の方針を共有しながら、課題については連携を図りながら早期に適切な対応を行い、さらに信頼を得られるように努めていきます。

●項目7「学校は、多くの人々、自然、地域社会との関わりがもてる豊かな体験活動を、意図的、計画的に行っている。」

＜考察・改善点＞

「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は97%であり、昨年度より2%向上しました。コロナ禍前の生活に戻り、自然や地域社会との関わりが持てるような体験活動等を、昨年度より充実させることができました。今後も、状況をしっかりと見極めながら進めていきたいと考えています。

【滝根っ子ルール取り組み状況調査の結果について】

「たいせつにしよう、元気なあいさつ」

問：自分から元気なあいさつができましたか？

＜考察・改善点＞

「A」「B」評価を合わせた肯定的な評価は、85%であり、昨年度より6%減少しました。「あいさつ」はコミュニケーションの基本です。学校においても引き続き、自分からあいさつができる児童を目指し、指導をしていきます。ご家庭でも声をかけていただきますよう、よろしくお願いいたします。

「きめよう、ゲームやメディアの時間」

問：ゲームやメディアを使う時間を決めたり、ノーゲームデーを守ったりして、ゲーム機やその他のメディアを適切に使うことができましたか？

＜考察・改善点＞

「A」評価が12%、「A」「B」評価を合わせても38%と、課題を感じている保護者の方が多いことがうかがえました。ゲームやメディアの使い方や時間については、今後もお子さんと話し合い見守っていくことや、学校においても適切に指導していくことが必要と感じました。

「ねばり強く取り組もう、家庭学習」

問：家庭学習を始める時間、目標を自分で決めて、取り組むことができましたか？

＜考察・改善点＞

「A」「B」評価を合わせて69%と、ゲームやメディアのしかたと同様に課題を感じている保護者の方が多いようです。学校においても家庭学習の大切さや効果的な学習のしかた、有意義な自主学習の内容等について再度指導してまいりますので、ご家庭においても励ましや見守りをよろしくお願いいたします。

